

# 2018年(平成30年)3月期 決算補足説明資料

---

2018年5月  
(証券コード：4553)

# まとめ

- ◆ 売上高は前期比10.0%増。近年の追補品も順調に推移。  
対計画では、薬価改定前の買い控えの影響が想定より大きかったことにより、僅かに計画を下回った。
- ◆ 売上原価率は53.9% (前期比-0.1pt)。  
対計画では近年の追補品の販売増加等を主な要因として、0.2pt改善した。
- ◆ 営業利益は前期比69.5%増。売上の増加による売上総利益の増加、および主に研究開発費の減少による販管費の減少が要因。
- ◆ 経常利益は前期比58.0%増。デリバティブ評価損益については、前期は為替相場の円高傾向に伴うデリバティブ評価損(502百万円)が発生しており、当期はデリバティブ評価損(1,334百万円)が発生している。
- ◆ 親会社株主に帰属する当期純利益は前期比16.5%増。  
特別損失として、連結子会社である大地化成株式会社において、今後の業績見通しや将来の投資回収可能性を検討した結果、固定資産の減損損失1,800百万円を計上している。

# 2018年3月期 決算概要

- 売上高 / 近年の追補品も順調に推移し、増収
- 営業利益 / 主に研究開発費の減少により販管費が減少し、増益

(単位：百万円, %)

期	18/3			17/3		
	金額	対売上高 比率	前期比	金額	対売上高 比率	前期比
売上高	93,430	100.0	+ 10.0	84,949	100.0	+ 3.5
売上原価	50,379	53.9	+ 9.8	45,902	54.0	+ 14.0
販管費	31,407	33.6	- 2.4	32,176	37.9	+ 4.7
営業利益	11,643	12.5	+ 69.5	6,869	8.1	- 38.3
経常利益	11,717	12.5	+ 58.0	7,417	8.7	- 27.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,495	7.0	+ 16.5	5,576	6.6	- 27.4
(為替レート：TTM) 1ドル	2018/3		2017/3		2016/3	
	106.24円		112.19円		112.68円	

# 2018年3月期 決算概要(計画進捗率)

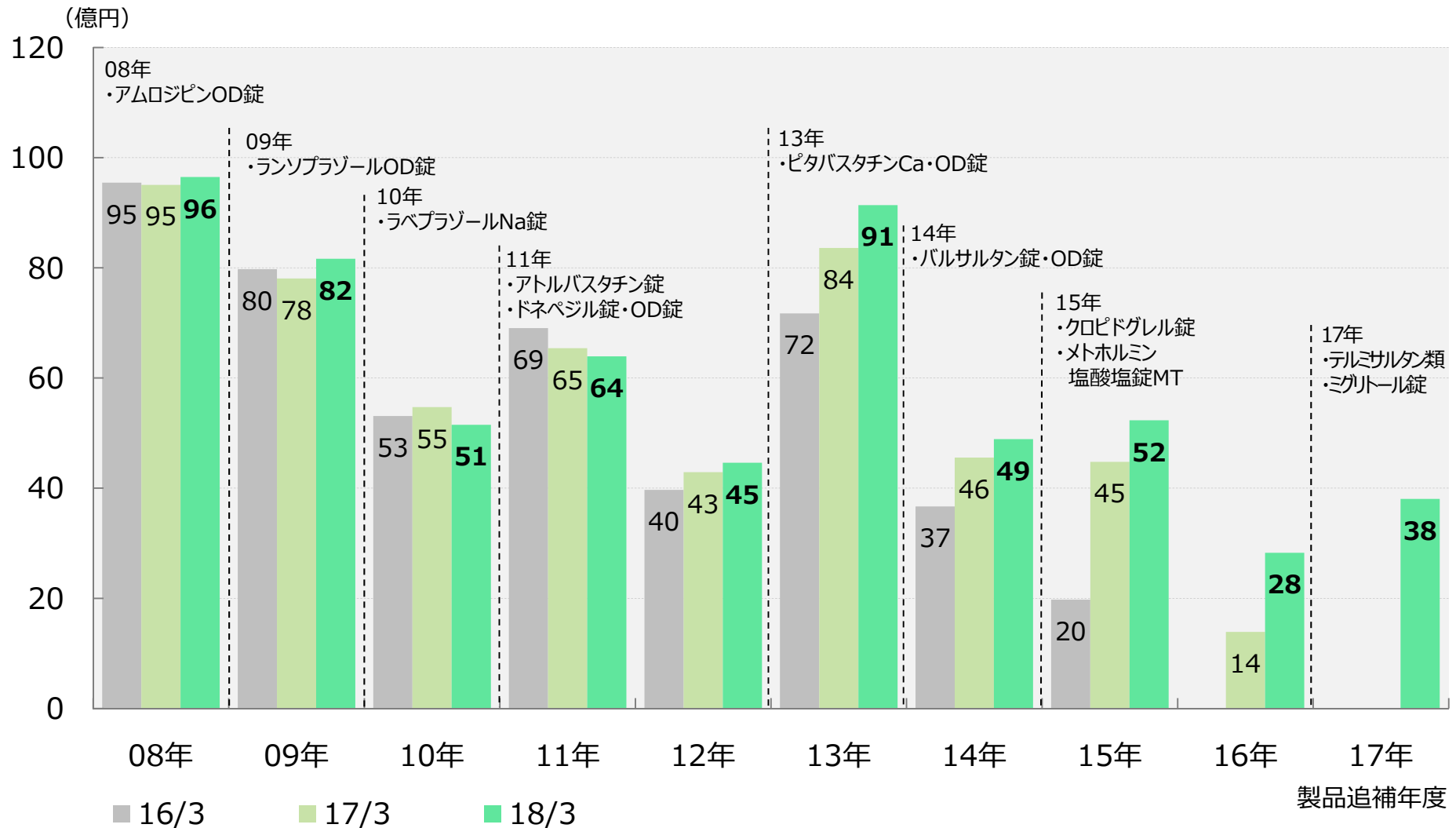
- 売上高 / 薬価改定前の買い控えの影響が想定より大きかったことにより、計画未達
- 当期純利益 / 特別損失として大地化成の固定資産の減損(18億円)が発生し、計画未達

(単位：百万円，%)

期	18/3				
	実績		通期計画(2月13日修正)		
項目	金額	対売上高比率	金額	対売上高比率	達成率
売上高	93,430	100.0	94,000	100.0	99.4
売上原価	50,379	53.9	50,900	54.1	99.0
販管費	31,407	33.6	31,300	33.3	100.3
営業利益	11,643	12.5	11,800	12.6	98.7
経常利益	11,717	12.5	12,000	12.8	97.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,495	7.0	8,400	8.9	77.3

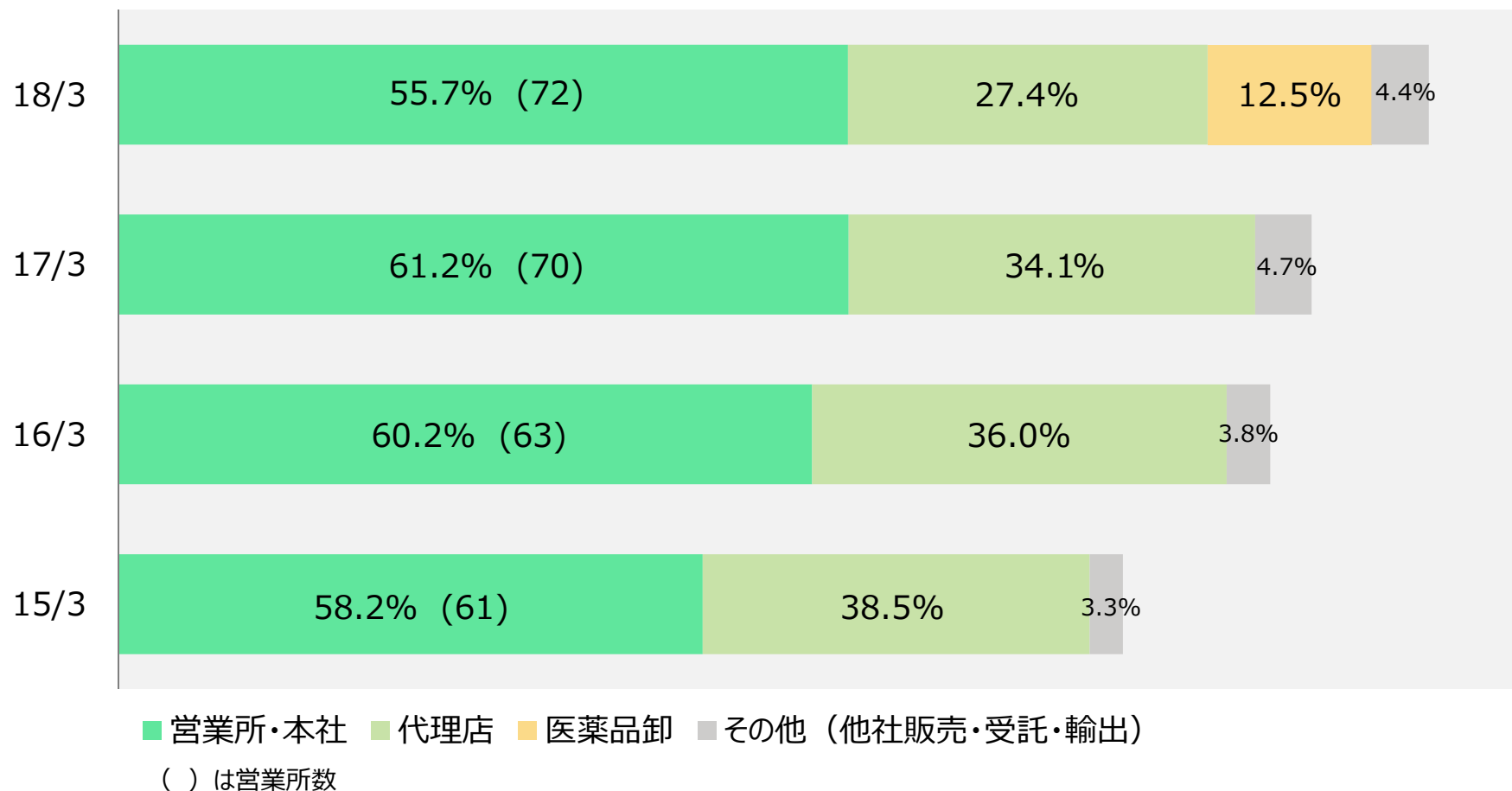
# 追補年度別売上高推移 (単体)

● 13年以降の追補品が順調に伸長、その他の年度についても売上が増加



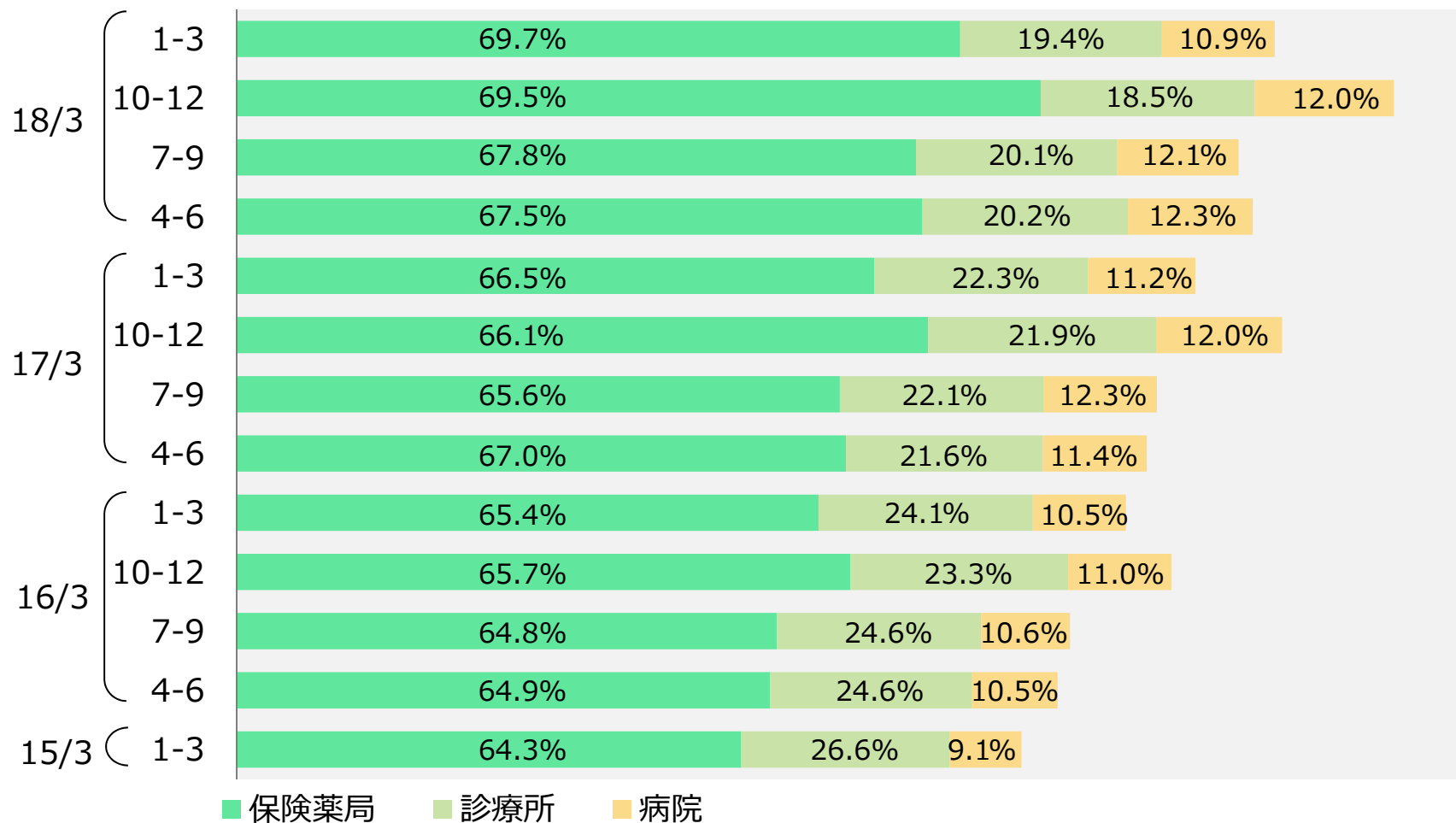
# 販路別売上高推移 (単体)

- 営業所の新設、本社取引の拡大などにより、代理店比率が低下
- 今期より医薬品卸との協業を開始し、順調に比率が上昇



# 納入先売上高推移 (単体)

## ● 保険薬局での売上が順調に推移



(他社販売等を除く。診療所+保険薬局+病院を100%としている。)

# 販売費及び一般管理費

- 販管費は前期比2.4%減少。研究開発費が前期比で大幅に減少したことが要因
- 東和式販売体制の構築により、増加傾向にあった荷造費が減少

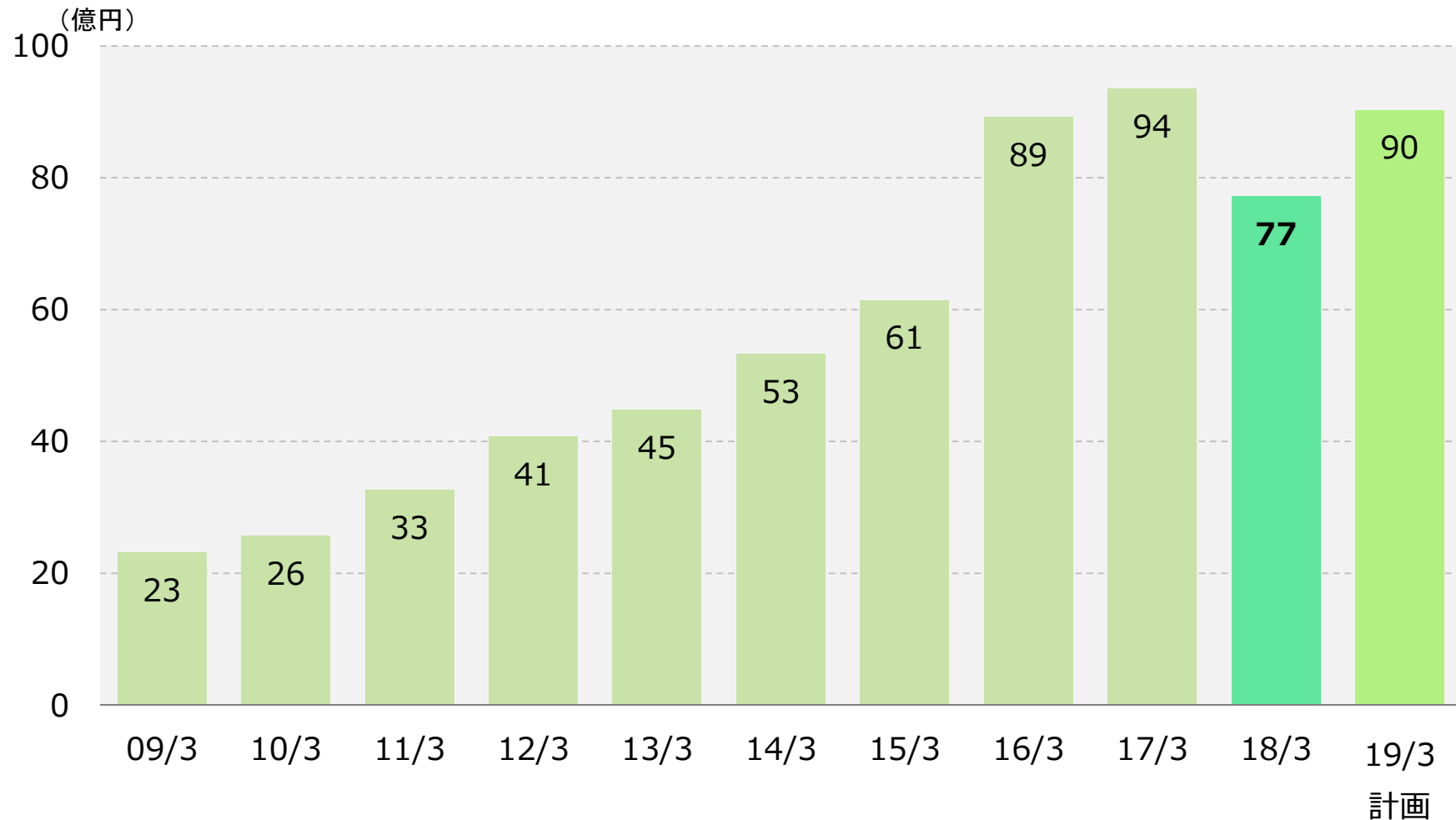
(単位：百万円，%)

期	18/3			17/3		
	金額	対売上高 比率	前期比	金額	対売上高 比率	前期比
人件費	13,422	14.4	+ 2.1	13,141	15.5	+ 8.4
研究開発費	7,725	8.3	- 17.4	9,352	11.0	+ 4.8
荷造費	1,941	2.1	-1.7	1,974	2.3	+ 23.8
減価償却費	1,173	1.3	+ 4.0	1,128	1.3	+ 16.6
広告宣伝費	1,016	1.1	+ 19.3	851	1.0	- 43.5
その他	6,128	6.6	+ 7.0	5,728	6.7	+ 2.3
販管費	31,407	33.6	- 2.4	32,176	37.9	+ 4.7



# 研究開発費推移

- 開発品目の見直しや開発スケジュールの変更により、期初計画（97億円）から減少
- 19/3期は90億円を計画



# 貸借対照表

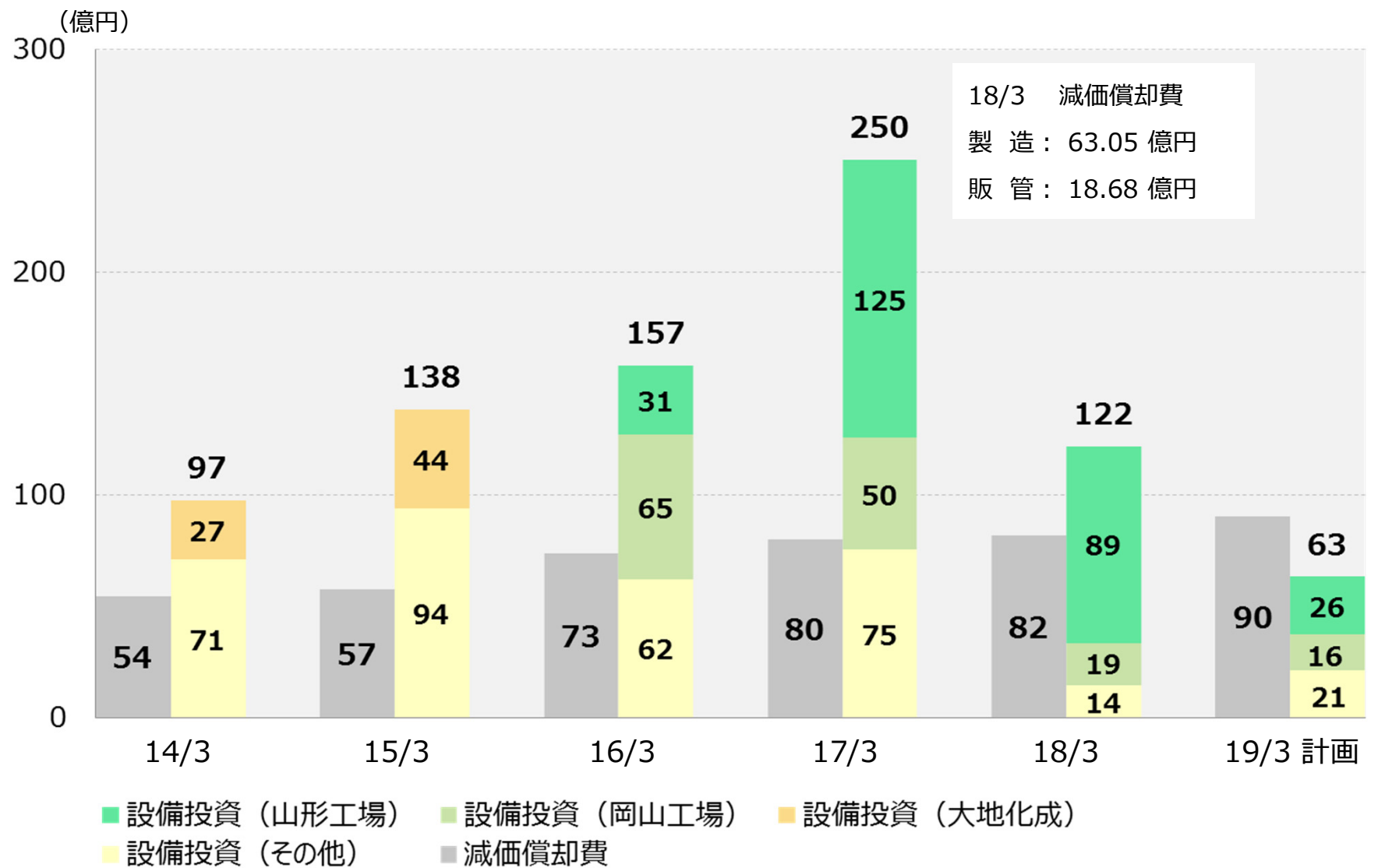
- 商品及び製品 / 在庫回転月数の短縮 (4.8か月 前期末比-0.9か月)により、減少
- 建物及び構築物 / 東日本物流センター建築および岡山工場改修工事により、増加
- 長期借入金 / 山形工場増改築資金として9,000百万円の借入れを実施

(単位：百万円)

項目	18/3	17/3	増減
現金及び預金	14,247	9,444	+ 4,803
受取手形及び売掛金	24,185	19,627	+ 4,557
電子記録債権	6,278	6,597	- 318
有価証券	10,999	6,000	+ 4,999
商品及び製品	17,609	22,510	- 4,901
その他流動資産	22,056	22,371	- 315
流動資産計	95,377	86,552	+ 8,825
建物及び構築物	34,722	29,830	+ 4,892
機械装置及び運搬具	12,807	15,148	- 2,340
建設仮勘定	18,282	18,279	+ 3
その他固定資産	16,134	15,436	+ 698
固定資産計	81,947	78,695	+ 3,252
資産合計	177,325	165,247	+ 12,078

項目	18/3	17/3	増減
支払手形及び買掛金	5,385	5,309	+ 75
電子記録債務	6,412	7,455	- 1,043
1年内返済予定の長期借入金	4,249	2,681	+ 1,567
設備関係支払手形及び未払金	8,630	10,365	- 1,735
その他流動負債	11,226	8,788	+ 2,437
流動負債計	35,904	34,601	+ 1,303
長期借入金	44,803	39,253	+ 5,550
新株予約権付社債	15,046	15,056	- 10
その他固定負債	1,651	1,391	+ 260
固定負債計	61,501	55,701	+ 5,799
負債合計	97,405	90,302	+ 7,102
純資産合計	79,920	74,945	+ 4,975
負債・純資産合計	177,325	165,247	+ 12,078

# 設備投資・減価償却費



(減価償却費は研究開発費分も含む)

# 2019年3月期 通期業績計画

- 売上高 / 薬価改定があったものの、近年の追補品の販売増を中心に増収
- 営業利益 / 減価償却費の増加により、原価率が前期比1.2pt上昇、  
研究開発費を始めとする販管費の増加により減益の見込み
- 経常利益 / 為替相場の先行きが不透明なため、デリバティブ評価損益を除いた計画

(単位：百万円，%)

期	19/3 計画			18/3 実績		
	金額	対売上高 比率	前期比	金額	対売上高 比率	前期比
売上高	97,000	100.0	+ 3.8	93,430	100.0	+ 10.0
売上原価	53,300	54.9	+ 5.8	50,379	53.9	+ 9.8
販管費	34,000	35.1	+ 8.3	31,407	33.6	- 2.4
営業利益	9,700	10.0	- 16.7	11,643	12.5	+ 69.5
経常利益	9,600	9.9	- 18.1	11,717	12.5	+ 58.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,000	7.2	+ 7.8	6,495	7.0	+ 16.5

# 2018年6月追補収載予定新製品

薬効分類名	販売名	先発医薬品名（会社名）
長時間作用型ARB /持続性Ca拮抗薬配合剤	イルアミクス配合錠LD/HD「トーフ」	アイミクス配合錠LD/HD (大日本住友製薬=塩野義)
骨粗鬆症治療剤	ミノドロン酸錠1mg/50mg「トーフ」	ボノテオ錠1mg/50mg(アステラス) リカルボン錠1mg/50mg(小野薬品)
選択的ヒスタミンH1受容体拮抗 ・アレルギー性疾患治療剤	ベポタスチンベシル酸塩錠 5mg/10mg「トーフ」	タリオン錠5mg/10mg (田辺三菱製薬)
	ベポタスチンベシル酸塩OD錠 5mg/10mg「トーフ」	タリオンOD錠5mg/10mg (田辺三菱製薬)
高リン血症治療剤薬	炭酸ランタン顆粒分包 250mg/500mg「トーフ」	ホスレノール顆粒分包 250mg/500mg (バイエル薬品)

など、8成分 23品目を上市予定

**6月追補品合計で初年度売上 約13億円**

ベポタスチン…約3.2億円、ミノドロン酸…約2.6億円、イルアミクス…約2.2億円を計画しております。

**将来予想に関連する記述については、目標や予測に基づいており、  
確約や保証を与えるものではありません。  
予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用下さい。**

お問い合わせ先

---

東和薬品株式会社 広報・IR室

[ir@towayakuhin.co.jp](mailto:ir@towayakuhin.co.jp) TEL.06-6900-9102 FAX.06-6908-6060